

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】【公表】 親子通園 みのり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		20%	80%	利用人数の増員とともに、サーキットや運動療育ではスペース確保が難しく危険がある。部屋と倉庫が狭く、危険な箇所が多い。靴箱と駐車場が少なく、足りない。利用者が増え、スペースが狭くなってきた。
	2	職員の配置数は適切であるか		20%	80%	集団では個人への関わりも必要のため、適度な支援をするには、職員の増員が必要。常に職員が足りず、目の届かないことがある。作業が追い付かず、遅れている。もう少し職員が増えればより十分な療育ができると考える。
	3	本人にわかりやすい構造、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	20%	40%	40%	構造化をするにあたっての十分なスペースがない。集中できる環境を用意出来ない。道具を整理して片付けるスペースが少なすぎる。今後整理整頓も、もっとしていかないといけないがそれよりもまず整理棚や大きい物を置くスペースが必要
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	20%	60%	20%	人数や成長発達に合わせ、意見交換をし、案を出し合っているが、まだ未確保な部分もある。清潔ではあるが、活動に合わせた空間を確保できているとはいえない。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	40%	40%	20%	全員とはいえない。 全職員とまではないため、改善の必要性あり。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	20%	60%	20%	定期的なアンケート調査の実施と、その結果に対しての改善策をきちんと話し合い業務改善につなげていきたい。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	20%	40%	40%	今年度の公表が遅かったため、来年度からは前期・後期とするべき。
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20%		80%	『行なっているか知らない』という職員もあり、業務改善につなげるべく、第三者による外部評価とその結果の周知を徹底していく。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	20%	60%	20%	職員の意識向上や知識会得のためにも、それぞれが研修に行く機会を設けるべきでは？
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%			
	2	児童発達支援ガイドラインに基づき、児童発達支援計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	100%			
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100%			午前中の集団療育と午後の個別療育を組み合わせ利用して頂いたり、個別療育の利用者さん2～3組の合同療育を行うこともある。
	4	児童発達支援計画に沿った適切な支援が行われているか	100%			
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%		
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	20%	80%		早急に話し合う機会を設ける。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	60%	40%		忙しい日は十分に確認できないことがある。
適切な支援の提供 (続き)	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	60%	40%		
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%		
関係機関や保護者との連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	40%	40%	20%	『会議の時間の確保』が難しい状況。
	2	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	80%	20%		関係機関とは、常日頃から連絡・連携を取り合い情報の共有を行っている。また、保護者の方とは相談支援の時間を取り、情報の共有を行っている。
	3	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	100%			
	4	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%		20%	研修の機会を設けているが、利用児の増加と共に時間の確保が難しくなっている。
	5	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流、活動する機会があるか			100%	同施設内の併設園との交流も含めて、他園との交流も
	6	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40%	20%	40%	地域の方をお招きして陶芸や、茶道・華道などを行って
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			
	2	児童発達支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	100%			
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	40%	60%		相談支援事業内や、自由遊び内で支援を行っている。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			療育の始まる前や、その後の自由時間に保護者様とお話する中で子育ての悩みを伺ったり、ゆっくりと時間を取ってお話を聞き、助言や支援をさせて頂くことがある。
	6	保護者同士の連携を支援しているか	100%			自由時間に共通の話題に触れ、保護者様同士でお話ししやすい状況を作ったり、お楽しみ会など、リラックスした空間・時間を提供させて頂いている。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
	8	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			
	10	個人情報に十分注意しているか	100%			
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	20%	40%	20%	『それらのマニュアルは、知らされたことがない』という職員もいたことから早急に、改めて職員や保護者への周知を行う。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	60%		40%	定期的な訓練など、徹底した計画を立て直す。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	40%	20%	40%	途中採用の職員などへの周知も徹底できていなかったため、改めて全職員での研修の機会を設ける。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	20%	60%	20%	身体拘束についての周知を再度行い、きちんとした手順を踏んで、支援計画へ記載する。
	5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	20%	80%		ヒヤリハットは記入しているが、事業所内で全員共有しているかと言えば、それは出来ていないので今後は徹底する。